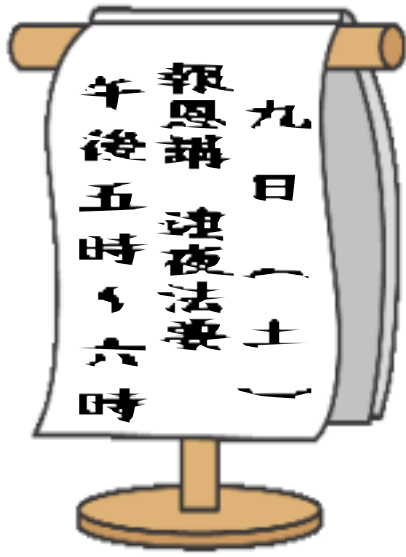


10月9日 報恩講のご案内 10月10日

報恩講は、私達の浄土真宗をお開きになった、親鸞聖人のご命日(旧暦11月28日)を縁とした、浄土真宗最大の行事で、二日間行われます。

「速夜(たいや)法要」は、お通夜にあたるものです。法要後、お弁当・お酒をご用意しています。



「日中(にっちゅう)法要」は、いつもと違い、華やかな飾りつけの本堂で、多数の僧侶の読経により行われます。

読経、法話の法要後、おとき(精進料理)を召し上がって頂きます。お酒の用意もありますので、飲まれる方は、お車はご遠慮ください。



法徳寺だより

お彼岸法要

9月23日(木)

秋分の日

- ① 10:00~10:40
- ② 12:00~12:40

(各回、30分前より受付開始)

過去帳・位牌
読み上げ用紙
お念珠
お経の本(お持ちの方)
服装は平服で構いません

ご自宅へのお参りご希望の方は、お早めにお申し込み下さい。

お彼岸期間 9月20日~26日

第97号 発行
浄土真宗本願寺派
法徳寺
厚木市岡田5-4-12
TEL 046-228-3962
FAX 046-229-6962
住職 伊東英俊
法話 伊東英幸
編集 伊東祐子

お願い

今回から、ご参拝頂ける方は、事前に申し込みをお願い致します。同封のハガキに記入して、郵送して下さい。参加者一人3000円程度ご協力お願い致します。

服装は平服で構いません。

ご欠席の場合、一戸3000円をご協力頂ければ幸いです。お布施は、阿弥陀様にお供えし、報恩感謝の読経をさせていただきます。郵送にてお願い出来ればと思います。

七五三

お寺で、お子様の七五三のお祝いをしましょう。いつも見守って下さる阿弥陀様へ、先立っていかれた方々へ、お子様の成長をご報告する行事です。お寺までお申し込み下さい。



築地本願寺団体参拝

今年も、築地本願寺の報恩講へ、大型貸切バスで団体参拝致します。



日時 11月12日(金) 朝7時30分 法徳寺出発

東名の混雑が予想されるため、朝は駅には寄りません。早めの集合をお願いします。

費用 6500円(当日、ご持参ください)

寺に車を置かれても結構ですが、酒の用意があります。飲まれる方は、車は禁止です。飲酒運転厳重ご法度です。

当日の予定

築地本願寺の報恩講参拝・おとき(昼食)
築地場外市場にて買い物・散策



明治神宮参拝~都会のオアシス神宮の森へ

若者の熱気・原宿竹下通り

最先端に行く表参道(表参道ヒルズ)



絵画館前いちょう並木
帰路へ

寺帰着予定、夕方6時頃。帰りは本厚木駅に寄ります。

定員52名です。定員になり次第、締め切ります。申し込みは、同封のハガキをご利用下さい。

ニコニコ法話会



時間 午後1時半~3時

10月 1日(金) 念仏奉仕・ニコニコ法話会
(毎年、報恩講準備の為、清掃奉仕をお願いしております。動きやすい格好で、ご参加下さい。)

11月 2日(火) ニコニコ法話会
12月 2日(木) ニコニコ法話会

皆様のご参加
お待ちしております!

お彼岸号法話

お彼岸とは、仏の世界に生まれていらつしやるご先祖方を偲び、やがて、自分も、古い病み死んでいかねばならない者であることを自覚する期間なのです。そして、だからこそ、すべての者を、彼岸(浄土)に救うと願って下さる、阿彌陀様の教えに耳を傾けようというのが、お彼岸なのです。

仏の有り様

仏教をお開き下さいました、お釈迦様は、この世は、苦の連続であり、思い通りにならないものである。この世に生まれたものは、やがては、病気をし、古い、死を迎えねばならない、それは、自然なことであり、不幸なことではない。だからこそ、怠ることなく、勤めねばならないとお諭しであります。もし、いつまでも、健康を保つことが出来るのであれば、とても幸せです。また、愛する方と別れることがなければ、これもまた、誰しもが望む幸せな人生の有り様でしょう。しかし、そのよ

うな人生を歩める方は、誰一人おりません。世の中には、病気を治してくれる仏様、神様もいらつしやるかもしれませんが、浄土真宗は、治らなければ治らないままで救われていく、お浄土の世界があるということをお教え下さるのです。それは、生、老、病、死という人生の真実として受け止めていく世界です。それは、「生きてよし、死んでよし」という本当の幸せを頂くことです。

死かッ生

多くの方が、私たちの人生の最後は、死だと思っております。しかし、浄土真宗では、そうではない、「浄土へ生まれていく人生である」とのお示しなのです。「死」ではなく、「生」ということになりますと、私たちの人生の目的地は、百八十度転換されるのです。人は、常に考えなくてはならないのは、死から免れようとするのではなく、生きられるだけの時間を、どうしたら、最もよく生きられるかということなのです。大切なのは、単に生きることではなく、よりよく生きることなのです。その間に、仏様の教えを聞き、私のいのちの有り様を学び、いのちの行く先を定めることが大切なのです。

阿彌陀とは

仏説阿彌陀經の中には、お釈迦様が、お弟子の舍利弗に対して、なぜ阿彌陀如来と名付けられているのかを示される場面が、説かれております。「舍利弗よ、この仏の光明は無量(限りがない)であり、そして、寿命もまた無量である」阿彌陀とは、昔のインドの言葉で無量という意味

なのです。光明が無量ということは、限りない国々の人びとを照らす力があるということです。そして、寿命が無量というのは、永遠の過去から永遠の未来に至るまで、救う力を持つということです。阿彌陀様は、なぜお浄土を建立され、私たちを救おうとされているのか。私たちの本当の願いをご存知だからだと思えます。阿彌陀仏とは、無量の寿命と無量の

光の仏様であります。

目的のない人生は、闇です。真っ暗闇です。未来が闇なら、現在も闇なのです。未来が明るいからこそ、今も明るいのです。夢も希望もない、何も信じられないのでは生きてはいけません。人生において何が大事かと言えば、通りすぎた過去ではないのです、大事なものは、今と、そして未来をどう生きていくかです。私たちがの人生の目的地は、お浄土です。しかし、私たちには、その目的地がどこにあるのかも、どうしたら行くことが出来るのかも分からな

親の真似

私は、いろいろなお宅様と仏縁を頂きますが、どのご家庭にも共通していえることは、これからの時代、先祖代々の墓地や宗教を継承していくことは、少子化や生活環境の変化の中で、とても難しい時代になると

思えます。次世代にも、お墓を守ってもらおうとか、自分たちが亡き後も面倒をみてもらおうとかは、あまり、期待をしないほうがいいのかもしれない。しかし、子供さんやお孫さんは、ちゃんと親の真似は致します。言うことは聞かなくても、親のやってきたことを、ちゃんと見ていると思えます。勿論、一概には言えませんが、仏縁は、人それぞれであります。私の経験

ではそのように感じます。

迷ったなら

迷った1度の人生、やり直しのきかない人生、悔いのない人生にしようと思つたら、先祖の世界から、阿彌陀の世界から聞こえてくる仏の声を耳を傾けてほしいと思えます。たとえ、身内に不幸が続いても、先祖が、崇つていないのではないかと心配することはありません。

私たちがの人生の目的地は、お浄土です。しかし、私たちには、その目的地がどこにあるのかも、どうしたら行くことが出来るのかも分からな

私には、いろいろなお宅様と仏縁を頂きますが、どのご家庭にも共通していえることは、これからの時代、先祖代々の墓地や宗教を継承していくことは、少子化や生活環境の変化の中で、とても難しい時代になると思えます。次世代にも、お墓を守ってもらおうとか、自分たちが亡き後も面倒をみてもらおうとかは、あまり、期待をしないほうがいいのかもしれない。しかし、子供さんやお孫さんは、ちゃんと親の真似は致します。言うことは聞かなくても、親のやってきたことを、ちゃんと見ていると思えます。勿論、一概には言えませんが、仏縁は、人それぞれであります。私の経験

(法話 副住職 伊東英幸)

平成22年8月20日

法徳寺 夏休み 子ども会



平成22年8月20日

法徳寺夏休みお寺の子ども会を開催いたしました。秦野の戸川公園へ行ったり、散策後、お寺で、仏さまの話やゲームをやり、楽しい一日過ごしました。子供たちにとって、夏休みの楽しい一日になったことと思えます。